

発行所 大熊町公民館  
電話(大野)65番  
編集責任者 吉田・農夫雄  
印刷所 加納活版所  
電話(平)2409番

精気に充ちた明るい町

館報

# おおくま

＝手近な生活改善＝

**時 間 厳 守**  
お互いに時間を守りましょう！  
**交 通 安 全**  
お互いに交通法規を守りましょう！

## 志賀町長決意表明

### 広域行政化は住民の福祉と生活向上が尺度

双葉地方開発の中心拠点としての町内整備に全力を。

十二月三日、志賀町長は第四代町目長就任にあたり、役場職員を前に鉄道の結末と積極的な任務達成を要望して次の様に決意を表明した。

#### 道路網の整備が先決

過去4年にわたる足跡を顧るとき最大の記憶は東京電力株式会社による原子力発電所の誘致でありこれが着工である。

この大事業の建設に伴ない幾多の派生的問題が起り種々批判はあつたにせよ大過なく4年一期の町政を執行し得たのは町民各位はもとより、職員皆さんの絶大な協力によるものであり感謝にたえない。

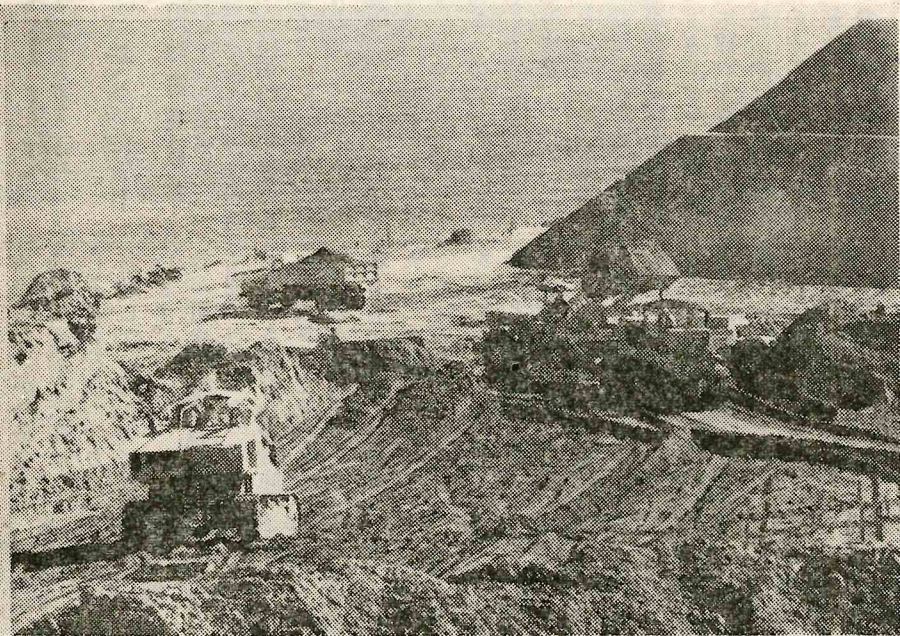
本日より4年間更に重大な責任と決意を以って大熊町政の執行に当るわけであるが次の事項を重点施策として取り上げ、その推進と実現を期する決意である。

#### 上水道の建設 42年度着工

上水道の建設は最終的調査を終り目下関係者が各先進地の施設を

#### 原子力発電所の建設準備進む

東電の調査が、建設準備事務所に衣替して丁度一年の十二月一日には、原子炉設置並に電気工物の申請について、内閣総理大臣、通産大臣、から許可され、いよいよ本格着工の段階を迎えつつある。前記の許可により、米田G・E社と



訪問研究であり42年度より2年計画を以て事業を完遂し、社会衛生環境の整備を図る所存である。

**農業基本問題の解決**

大熊町住民の61%は農業経営者である。従って第一期町政に於いては、農協、共済、果樹、漁業、商工会等の育成強化に努めて来たが遂次実績の向上を見たい。今後は、農業基本問題の解決のための農業近代化の前提である土地基盤の整備を図り度い考えである。

本件については農業構造改善事業の最終実施年度である43年度より事業の実施に踏み切り徳川期以降依然として

進展をみなかったこの問題を近代経営の軌道に乗せたいと思う。

水利問題の解決は農業問題解決の基本命題である。

目下手倉ダム建設のための調査が行われ大体の構想がまとまったのであるが、この事業には六億と云う膨大な工費を必要とし、更にこの額が大きくなる可能性もある。施工にあたっては、地域農家の充分な理解と協力が円満な事業推進の鍵となる。

したがって更に事前対策の万全を期して解決に臨む考えである。

**文教厚生施策 人間開発の万全を図る**

昨40年以来苦しい財政下において大中層体保育所及教員住宅建築等々の事業を進めて来たが現在熊小の改築工事を進めて居り43年度中に鉄筋コンクリートのデラックスな校舎の完成を見る筈である。学校教育上今後の大問題は中学校の統合である。

教育委員会或いは父兄の皆さんと充分に意見の調整を図り近い将来に納得の行く統合に善処したい考えである。

一面現代は、幼児児童期の教育と壮年期の時代指導と云う二面が大きく露出して、一番大きな青少年不在の施策が大きな問題となつてゐる。之が教育のためにも壮老年期はもとより零才からゆり籠までの人間開発と向上のためにも社会教育の万全を期したい。これが地域開発の原動力であると考えらる。

衛生問題では特に大野病院の拡充強化に全力を傾ける。

**広域行政の問題**

尺度は地域民の福祉と生活向上！

最近の新聞紙上にも報道され、あるいは議会において一部に積極的な双葉町との合併気運が拾頭しているようである。

私は本件を次の三つの分析の上に考へてい

第一は、広域行政の問題は時代の趨勢として必然的な傾向として受けとめられてゐること第二に、いわき地区の大同合併による焦燥感第三に、これこそ積極的気運の直接原因と考へられるが大熊町に於ける原案を中心とした町政の将来に対する展望と各種のおもむき。

私達は以上の事を念頭に置いて双葉地方開発の長期展望と原案が出る主体地域は大熊町地域である云う現実を立って考へねばならないと思ふ。

広域化については本町はその主体性を確立する必要がある、主導権もまた自分達の掌中にあるわけである。

私はこれに對し悲愴な決意をもって税財政の確立は勿論、極力消費、冗費を圧縮して財政の健全化を図ると共に、他面積極的な財政投資を図り悔のない町づくりに邁進する決意である。

心部を確立して合併すべきであると思ふのである。いつどの様に合併するかについては町民の皆様と真剣に研究すべきだと思つてゐる。

合併如何の尺度は地域住民の福祉と生活向上にどれだけプラスになるかであると思ふので住民の意志を尊重し真に機熟するのをまつて合併すべく今少し慎重を期したい所存である。

**積極的健全財政**

悔のない町づくりのために

今後の建設計画を遂行するためには実に莫大な財源を必要とし、非常な困難が予想される。私はこれに對し悲愴な決意をもって税財政の確立は勿論、極力消費、冗費を圧縮して財政の健全化を図ると共に、他面積極的な財政投資を図り悔のない町づくりに邁進する決意である。

手倉ダムの建設

熊川、大川原川沿いの水田二七八ヘクタール(一ヘクタールは約一町歩)、開田八四・四ヘクタールの用水確保のために、大川原の坂下橋附近にダムを造らうと云ふこと本年昭和三十九年より本年まで、あらゆる調査が進められた。一応昭和四十二年に県管かんがい排水事業として農林省の採択を仰ぐ段階となりましたので採択

とかく大熊町為政者の足なみは揃わぬと他町の議員などの話を耳にする。事の成否はとび出た一人や二人を出さず事ななく、力を大事に一点に集中するべきである。現在の大熊町は将来の双葉地方開発の中心部として、ガッチリと基礎土台をつくる大事な時と思つておれが各人の能力を結集すべきではあるまいか。

がきまれば、昭和四十四年度に基礎調査並びに実施設計が行われ、昭和四十五年着工、昭和五十年に竣工という見通しを建ててゐるのであります。

この事業費ですが、ダム工事、水路工事に五億六千万円(国費二億八千万円・県費一億五千五百五十万円・町費八千四百五十万円・受益者負担四千二百五十万円)、開田・客土・圃場整備事業に九千万円(国費三千三百五十万円、町費一千三百五十万円、受益者負担四千二百九十万円)を見込んでいます。

そこで受益者の負担金ですが、一〇アール(約一反歩)当り、開田の場合二万四千円、客土は二万円、圃場整備は二万五千円、旧田の場合には一万二千元程度となりますが、長期の融資措置を講じて一時に多額の出資をしないように計画をしております。

なおこの事業が完成いたしますと、年々八千四百俵の米の収穫が見込まれます。





# 大熊町の教育行政

## 二人間開発こそ急務

### 大熊町教育委員会

本町の教育委員会は、五人制を採用し、西名委員長ほか四名で構成し教育長のもとで計画立案した学校教育、社会教育の全般について検討決議を行っており、別に社会教育について公民館長を主軸として鈴木一雄委員長ほか六名の方々に専ら専門的立場から御指導を願っております。

施設の状況は町長を初め町議会議員の理解ある配意と力添により昭和四十年は大野中学校の屋体を完成し、本年度は三ヶ年計画の大熊町小学校舎改築の第一期工事を鋭意建築中で明年一月末までに普通教室四、特別教室

二、水洗便所つきの近所期の目的に向って進んでおり優秀な教諭陣の学校教育と卓越した社会教育と相俟って今後も着実な歩みを続けたいと念願するところであり、次の重点として考えたいと思っております。先づ夫沢地区から双葉町へ通学している約六十名の委託児童生徒の本校小中学校への復帰と中学校の統合の問題であります。統合して学校の規模を大きくする事こそ、教育効果をあげる最大のポイントであります。

までもないが今後益々公民館活動を活発にし住みよい社会づくりに邁進したいと考えております。

我が町の教育は着々と進んでおり、教育に關する限り世界の第一等であるのであります。最近の青少年の非行は実に目に余るものがあり、これは現在の世相、その他種々原因があると思われ、社会全般的な道徳の低下によるものと思われ、そこで社会教育による道義心の昂揚と学校教育に於ける道徳教育の充実により漸次に社会悪の根絶を期したいと思っております。

何れにせよ世界各国は自国と民族の福祉と繁栄に最大の努力を払っております。我が大熊町もこれにおくれをとることなく家庭教育に第二の国民である青少年の育成の爲に大いに努力致す所存であります。各家庭におかれましては、家庭教育に心を致し、絶大な御協力をお願い致します。



### 誓の言葉

昭和41年は結婚の年10月以降公民館結婚も月に2回は挙行されている。

結ばれる若人に幸あれ

**熊小改築**  
鉄筋二階建に  
新誕生

本町立熊町小学校は、大正十年の建築に、昭和四十一年度から三ヶ年計画で、鉄筋コンクリート二階建延二、九二四、一平方米(八八四、五四坪)総工費五、五九〇万円の予算を以て改築することになり昭和四十一年度分として七二五、一六平方米、工費二〇〇四万円、設計を福島市平木設計事務所、施工をいわき市平加地和組の手で七月二〇日着工し、一月末現在で二階コンクリート建を完成してその出来高約六〇%外装及び内部仕

上げに全力をあげており、来年の一月三十一日に完成させるべく努力しております。

本年度施工の概略次のとおり(単位平方メートル)

- 普通教室(四) 二五二、〇〇
- 特別教室(音楽室) 八五、五〇
- 準備室(一) 三二、五〇
- 階段(一階二階水洗) 四、〇〇
- 便所(一階二階水洗) 五、〇〇
- 水のみ場(一階二階) 三、四〇
- 廊下その他 一、二七、七六

計七二五、一六平方米(二一九三六坪)

**農地報償金の請求**  
請求は42年2月20日迄に農地報償金の請求手続を済ませられた方は五〇%しかありません。

**戸籍簿抄本を所持者**  
買取名義人が生存している場合は戸籍抄本も、死亡している場合は家督相続か遺産相続になりますから、係

**納税推進運動月間**  
12月1日(1)31日

皆さんに税の理解と協力を深めていただく。期間内の正しい申告と納期内の自主的完納をお願いします。

未納の税金を一掃し自主納税の基盤を確立する。

こんな意味で相談所を開いています。どんなことでも御遠慮なく気軽に役場の税務課で御相談下さい。

**保険料の納め忘れは**  
ありませんか?

昭和四十一年もいよいよ年のくれを迎えます。

ことしは史上最大の豊作であると伝えられました。ところが、収穫を終え、農家ではそのあと始末にたいへんなこととされています。また商店の方も、本月は一番のかき入れどきで何かと多忙を極めておられるときでしょう。

から五九才までは月一五〇円が二五〇円となります。この意味からも保険料の納め忘れのないよう心がけましょう。

保険料を納め忘れていると、いざ老令年金をうけることができず、万が一、事故でけがをしたり病気をしたとき、保険料を納めた期間が一定期間以上という要件に該当しないうえ、せつかくの給付をうけることができないう結果となります。

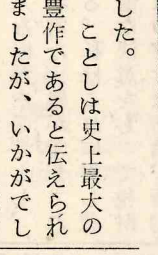
ですから、いままでもあなたの手帳を確かめ、納めていないときはすぐに納めたりきりした気持ちで新しい年を迎えるように心がけてください。

次に声を大にして申し上げたいことは、道徳教育の向上であります。戦後我が国の教育は著しく進歩し、教育に關する限り世界の第一等であるのであります。最近の青少年の非行は実に目に余るものがあり、これは現在の世相、その他種々原因があると思われ、社会全般的な道徳の低下によるものと思われ、そこで社会教育による道義心の昂揚と学校教育に於ける道徳教育の充実により漸次に社会悪の根絶を期したいと思っております。

委員 鈴木 一雄  
委員 太田 四朗  
委員 山田幸太郎  
委員 早川 良知  
委員 吉岡 郁三  
委員 河西 三都

**話のクズ箱**  
朝起きる前から夜寝静まってまでバイクと自動車の騒音。常におどおどとして車から身を護らなければ歩けない交通事故。人々は文化の名のもとにバイクを乗りまわし自動車を買う。人類は、自分が作り出した文化のために疲れ果て、滅び去るのではないかとまで思はれて来る。

**保 育 所**  
児童の定数は60名職員が5人。5月1日に開所した当時は児童は26名だったが12月1日現在では46名42年度は児童定数を75名にしようとして検討中だ。一人が踊り2人3人と踊り出す。そしてみんながぞろぞろと踊りの輪に入っていく。泉田保育所長さんは、◎健康と安全の確保、◎和平と協力、◎児童と供に、が信条だと云う。



児童の定数は60名職員が5人。5月1日に開所した当時は児童は26名だったが12月1日現在では46名42年度は児童定数を75名にしようとして検討中だ。一人が踊り2人3人と踊り出す。そしてみんながぞろぞろと踊りの輪に入っていく。泉田保育所長さんは、◎健康と安全の確保、◎和平と協力、◎児童と供に、が信条だと云う。

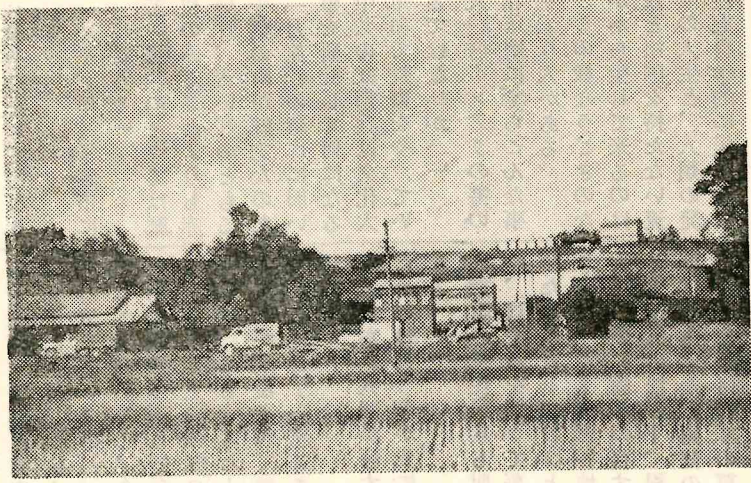
児童の定数は60名職員が5人。5月1日に開所した当時は児童は26名だったが12月1日現在では46名42年度は児童定数を75名にしようとして検討中だ。一人が踊り2人3人と踊り出す。そしてみんながぞろぞろと踊りの輪に入っていく。泉田保育所長さんは、◎健康と安全の確保、◎和平と協力、◎児童と供に、が信条だと云う。



# 大熊、双葉両町合併 促進委員会の経過について

一 鈴木 雄一

此の合併問題については既に四年前より両町議会並びに特別委員会に於いて数回に渉り話し合いの場を持って来たもので、双葉町の厚生病院事件で一時期座談会が、それ以前に於いて公民館に於ける両町議会協議会の際之が結論を導く為には双方より五名宛の委員を選出し話し合いを続けること決定本町よりは平谷



吉岡(庄、末永、常盤)各議員と私が選任された。町村の合併は全町民の意志によって実施されることは勿論であるが、それ以前に於いて合併の基本条件を持ち寄り地均らしを行い更に両町の町当局、議会一般町民の三者よりなる法律に基づく合併協議会を以て細部に涉って基礎固めをして合意

二、時期—四二年四月を主張する双葉町に對して四三年四月頃但し当方の次の庁舎問題を認めるときは四二年四月でも可か  
三、庁舎—六号国道線(上東電入口附近)双葉町は有本氏梨畑附近私共は近く建設を予定されて居る駅前より六号国道に至る基幹道路の交叉点富田氏附近より南へ北大和久の地点  
であり庁舎の位置については今後の問題に属している  
以上の三点については常に議会で報告すると共にその大多数の意志を尊重して行つたものである  
常磐地区新産都市の広域合併に次いで双葉

## 町の変ぼう

大熊町は、朝に晩に急ピツチで變つて行く。写真右は駅前北方俗稱「焼山の丘陵」に建設を急ぐ東電団地。  
写真下は建設を急ぐ六号新国道より北大和久丘陵を岩般地区旧電用野上原、そして大平洋

道路につなぐ道路工事町内を西から東大平洋岸に走る丘陵は開發を妨げる自然の障害をなしていたが文化の進歩は、住宅地として、牧場遊園の場として、牧場として大きくクローズアップされて来た。  
町はめまぐるしく變つて行く。



定その他三町村合併の促進の必要な啓蒙宣伝(委員)一 関係町村の議長及び副議長二 関係町村の議会の選任した議員三 関係町長及び助役四 関係町村の地域内の公共的団体等の役員及職員、学識経験者  
熊川の鮭は相馬藩の時から知られている。ところが近頃の鮭の採捕量を見ると、昭和29年には五五〇尾、40年には五〇〇尾、41年には五〇〇尾と年々減少している。原因としては、潮流の変化、遠洋漁業による乱獲などがあげられるが潮流の変化については私達の力ではどうにもならないが、遠洋漁場での乱獲については鮭の習性を利用して対処出来ない難事ではない。  
鮭は熊川で放流すれば

必ずそこに戻って来るからだ。しかし放流したからとて全部が戻って来るものではなく戻率は一五〇と云われ一〇万尾の稚魚を放流してやると一、五〇〇尾の鮭が採捕出来ると云う事になり三、〇〇〇尾を採捕するには二〇万尾の稚魚を放流しなければならぬ。  
そこで熊川漁業協同組合(組合長平谷重一)ではこのほど工費二〇〇万をかけて鮭孵化場を完成して本格的な孵化採捕にのり出した。  
十月二十三日に行われた鮭孵化場の落成式には、本洲鮭鱒資源保護協会専務理事、県農政部長、水産課長、県魚連会長、地元県議ら臨席のもとに関係者約百名が参集して孵化事業の前途を祝福した。  
小良浜林道着工  
かねてから地元関係者の強い要望があった小良浜林道はこのほど工費六〇〇万をもって昭和四十二年度着工することになった。この林道は延長約八〇〇米現在の小良浜バス停留場より西に約五〇〇米入った地点から国道六号線に通ずる線である。この林道が出来れば小良浜地区一帯に眠っていた林産資源は一躍脚光を浴びることとなり農産物の搬出等と併せて地元民の交通も極めて便利になり一石二鳥の効果があらざるものと関係者からは非常に喜ばれている。

## 旬 壇

長患の床上げ祝ふ梨甘し  
穫上げを終へて日向に蒔ほし  
風鈴の家訪いば 主留守  
豊年や稲ほもつて風せわし  
落葉たけば子等寄つてくる通学路  
頬張れば顔に紅さす柿の味  
甘諸掘れば孫も籠持つ昼下り  
蟬取りばあやと孫は四ツ這へに  
参堂の杉の並木や蟬時雨  
群なして風追ふ如し赤とんぼ

## そ菜産地を 育成したい

本町の農業は構造改善事業計画の構想の如く、水稲と畜産を主体とした経営形態に発展され果樹、煙草、養蚕等は夫々組織団地化されて安定して来ると思われるが他産業の発展に、消費人口の増加に伴って当然作らなければならぬ野菜が年々減少しつつあるところの問題がある。  
然しこれからのそさい作りは地元の需要を満たす小使とりの野菜づくりに対し工場、市場に直結した共販体制による産地づくりである現在実施計画されている主なもの。  
◎加工トマト  
キツコ食品KK契約栽培に依って価格保障(本年K一三、

五円に値上げ)反収八、〇〇〇K一〇〇  
●〇〇円、明年は四ヘクタールの作付計画  
◎食用馬鈴薯  
双葉産男爵は東京市場で好評二〇〇K入大玉五〇〇円、中玉四〇〇円、小玉飼料に利益率非常に高い  
◎短根人参  
明年から作付計画。試験の結果(種葉町)段量三千K、一アール三一、九万三千円生産費合計三万六千七百七二円、差引利益五万六千二百二十八円、一月当労働報酬二千九百六十二円  
◎一寸蚕豆、枝豆  
他町村では契約栽培及共同出荷して非常に利益を上げていますので本町でも計画中心に、地元労働

## 大熊町農業実態の変動

大熊町の農業実態はどの様に変つて来ているのか。40年2月と41年2月の調査の中から大要を拾つてみよう。

- ①(40年2月) 40年2月と41年2月の調査の中から大要を拾つてみよう。
- ②(41年2月)
- ◆大熊町の戸数 ①一、五八五戸四戸減
- ◆農家数(一〇アール以上) ①九九五戸、63% ②九七六戸、61% ③一九九戸(2%)減
- ◆専業農家(%)は農家のうち ①二〇九戸、21% ②二八五戸、35% ③七九戸(14%)増
- ◆兼業農家(%)は農家のうち ①七六七戸(79%) ②六九一戸(65%) ③七六戸(14%)減
- ◆第一種兼業(%)は兼業のうち ①四八〇戸(61%) ②五五九戸(71%) ③七九戸(10%)増
- ◆第二種兼業(%)は兼業のうち ①三〇七戸(39%) ②二二八戸(29%) ③七九戸(10%)減

第一種兼業は農業所得を主とするもの、第二種兼業は兼業収入を主とするもの。  
◎出稼ぎ  
①一四〇戸一五八人 ②四八戸六〇人減  
以上の数字から、詳細が分かるが、第一種兼業以外に移つたこと、原労働がふい、一方賃金の格差及び和牛の飼育その他によって農家収入が某程度増加して来た事を示している

## 編集後記

本42号を町民皆様のお手許に配ることとした不備な点は皆様の批判によって逐次充実したものにしたいと思ふ。

◇町政担当面から町民に流れるパイプと、町民の声を下から上に吹き上げる2つのパイプが必要だと思ふ。  
一方のパイプが詰れば地域民の上に黒い霧が覆つて来る。  
第一面は執行部欄、第二面は教育、第三面は開発と産業、第四面は社会教育、第五面は議会・産業、第六面は町民欄とした。  
◇合併問題については速急論と早急論が出て居る、いづれにしても地域の将来を思う気持は同じだと思ふ。明治維新前夜に尊王攘夷、開港場の論が出たように、時代の進歩は「話し合いの場」を持つ事によって解決して行く事が必要なのだと思ふ  
◇次号43号は、1月中旬に発行の予定です。皆様の投書をお願いします。

働がふい、一方賃金の格差及び和牛の飼育その他によって農家収入が某程度増加して来た事を示している











町民欄

合書、会合、本欄には、投書、をのせました

現在町民にとって、心にかゝる事はと云えば次の4つがまづ出て来るのではあるまいか。
○東電工事は足音高く進んで行くこれに合はせて何と生活を安定する方法は？

町村合併

総合開発特別委員長にきく

12月1日、編集委員石田真宗氏にインタビュー
は、話題をまいて町合併問題について町民に真意の理解を求めたい

▽特に双葉郡一市に対する前提条件として双葉町との合併を早期に実現しなければならぬ
▽大熊、双葉町町議会合併促進特別委員会も発展的解消をし、合併協議会設置(註、法的権限をもつ)を議会に要請中であるので、この機会を見逃してはならない

町区部落座談会の意見から

12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた

②双葉町の町議会議員の任期が切れる前の四月を目途として合併するように伝えられてくるが議員の任期と合併問題は全く別な問題だ
③町長は、町民の意見を充分きいて合併問題に対処すると云っているがどんな方法で聞くのか具体的な示して貰いたい

幾多の事業が完了してから合併問題を考へても遅くはないと思う
⑥富岡を含めた町村合併を考えた位置に立派な庁舎を先づ建ててから後に考えた方がいい

急行停車がほしい

町発展は急行停車を実現させて浪江、富岡等と一日大野駅で求める
既に前年末町代表の真剣な運動が続けられているが国鉄の査定は公正。急行停車の価値のある大野駅の収入の確保と急行利用の実績を得るためには手段を選ば

大野駅長 宗形 定雄

町当局に望む

①双葉町と合併することによってどんな利益があるのか、町当局として町民の前に明示すべきだ
②町内に山積している

義理と人情

人間誰もが争いはしたくないが選挙のため競争は民生安定にとって大事なことはな

公民館便り



成人式
42年1月3日、午前9時50分から大熊町公民館で挙行

今年21年4月2日から22年4月1日まで誕生した者
質問ある方は公民館に問合せ下さい

大熊町スポーツ教室パレールコースでは各部活の普及のためボールを配布していままだ配分を受けない必要な部活は至急公民館に申込んで下さい

合併問題には 町民の声を反映させる
12月18日の年末区長会議の席上合併に対し町当局に質問が矢つぎ早やに出された
要旨次の通り
双葉町との合併については、大熊・双葉町町議会の中に合併促進委員会を設置して既に数回の協議がなされて合併の時期庁舎の位置町名の問題等について大

町区部落座談会
12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた

町区部落座談会
12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた

町区部落座談会
12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた

町区部落座談会
12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた

町区部落座談会
12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた

町区部落座談会
12月初旬、農業改善事業推進についての部落座談会が催された際町長の出席を求められた